

会員企業と連携した 災害対応訓練を実施

日建連では、高い確率で発生が予想されている首都直下地震や南海トラフ地震などの発生に備えて、会員企業と連携した初動対応が重要であるとの認識から、別表の通り災害対応訓練を実施した。

二月二十二日には、今年度最後の訓練として、(株)大林組が実施した震災訓練と連携し、日建連本部と全支部、大林組本社と全支店が就業時間中の発災時における連携手順の確認などを行った。当日は、最大震度六強の南海トラフ巨大地震を想定して日建連と大林組それぞれに対策本



日建連と大林組によるWeb会議の様子

部を立ち上げ、電話やメールなどで相互に被害状況の確認や情報収集を行った後に日建連から大林組に社員の派遣を要請。その要請を受けて、大林組の担当者が徒歩や自転車などで日建連に参集し、スカイプを使用したWeb会議を行って訓練は終了した。会員企業への社員派遣要請やWeb会議を使用した全国規模での訓練は、日建連としても初めての試みであったが、Web会議は画像、音声ともに明瞭であり、情報の伝達や共有の面で非常に有効な手段であることが確認できた。

日本は世界有数の自然災害発生国と言われており、昨今、本震クラスの地震が短時間で複数回発生した熊本地震や集中豪雨による大規模災害など、想定外の災害が頻発している。防災段階から発災後の復旧・復興に至るまで、社会・経済活動の早期回復における建設業の役割は極めて大きいため、応急・復旧作業や資機材の調達等に迅速に対応すべく、今後も会員企業と連携した訓練を順次実施していきたいと考えている。

平成二十八年度 鉄道交通講演会を開催

日建連は二月十四日、東京・大手町の経団連会館において「平成二十八年度鉄道交通講演会——二十一世紀の環境新時代を拓く——を開催した。鉄道の建設・整備や建設業界に対する理解を深めるために毎年開催している鉄道交通講演会も、今年で一三回目となる。

はじめに、宮本洋一 副会長・土木本部長が、「昨年は、北海道新幹線の新青森・新函館北斗間が開業し、整備計画の決定から四十二年余りを経て、待ちに待った新幹線の北海道乗入れが実現した。一昨年に開業した北陸新幹線の長野・金沢間とともに、高速鉄道ネットワークはますます充実したものとなっている。残る金沢以西の区間や札幌までの早期整備の実現を大いに期待している」と挨拶した。

今回の講演は、ジャーナリストの杉山淳一氏が「観光列車新時代 鉄道は運輸業からレジャー産業へ」と題し、JR九州ななつ星をはじめ次々登場する観光列車について、「単なる移動手段ではなく、乗車することが目的の観光列車

はレジャー産業であり、鉄道施設に付加価値を与えて客単価を上げていくビジネスである」と述べたうえで、観光列車がビジネスとして成功するポイントに「特別な体験、特別な食事、特別な買い物」を挙げた。

今後については、「低価格な観光列車と富裕層相手の豪華クルーズトレインの棲み分けが進む一方、改造中古車両の寿命が分岐点となって観光列車の淘汰が進む」と展望した。

次いで、東日本旅客鉄道(株)の深澤祐二代表取締役副社長が「インドにおける高速鉄道プロジェクト」と題し、日印首脳共同声明に基づく事業の概要について、「盛土から高架橋への構造形式の抜本的な見直し、現地特有の地質に対応するための試験、用地取得の状況」などについて説明し、「本年秋には起工式が計画されている」と述べた。

今後の課題について、「品質を確保するための施工体制の在り方、遅延への対処、責任の所在などが挙げられるが、しっかりと条件を整え

平成28年度 会員企業と連携した災害対応訓練の実施状況

日付	会員企業	日建連	想定	概要
8月26日	鹿島建設(株)	本部・関東支部	首都直下地震	MCA無線などを使用
9月1日	清水建設(株)	本部	南海トラフ巨大地震	清水建設本社内に、代替拠点として日建連災害対策本部を設置
9月2日	五洋建設(株)	本部	首都直下地震	災害用アナログ回線を使用
2月22日	(株)大林組	本部・全支部	南海トラフ巨大地震	日建連本部と関西、中部、四国の各支部からの要請を受けて、大林組の担当者が日建連の各災害対策本部に参集



東日本旅客鉄道(株)の深澤祐二代表取締役副社長



ジャーナリストの杉山淳一氏

て取り組んでいきたい」と意気込みを語った。

最後に、林康雄鉄道工事委員長が、「この講演会は、講師の方の深い見識と熱い想いのなかで、毎年お話しいただいている。本日の講師のお二人と熱心にご聴講いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き日建連の活動及び鉄道建設に対するご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます」と閉会の挨拶を述べた。

当日は、日建連の会員企業や鉄道工事の関係者ら四〇〇名以上が聴講し、杉山氏と深澤氏の講演に熱心に聞き入っていた。講演会終了後、引き続き懇親会が催され、盛況裡に終了した。